

■第12回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成26年9月29日（月） 15：30～17：00	
場所	秋田市環境局大会議場	
参加者 （敬称略）	推進 委員	特定非営利活動法人科学協力学際センター川添理事長（委員長） 秋田大学教育文化学部地域科学課程 西川准教授（副委員長） 秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科 板垣准教授 東北電力株式会社秋田営業所 杉田専門役 東部ガス株式会社秋田支社 保坂副支店長 秋田商工会議所 柴田専務理事（代理：浅野部長） 秋田県産業労働部資源エネルギー産業課 赤川課長（代理：加賀谷主査） 秋田県生活環境部温暖化対策課 高橋課長 日本アイ・ビー・エム株式会社 Smarter City 推進 加茂部長 ジョンソンコントロールズインク（米国本社）三田村ディレクター（代理：割田グループ長） アイ・エム・サービス株式会社 大山統括部長 秋田市環境部 古里部長 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 小長井マネージャー 計13名（順不同）
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料1	あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿
	資料2	情報統合管理基盤 WG 報告資料
	資料3	ESCO・LEED WG 報告資料
	資料4	LEEDS大学講演 報告資料
	資料5	低炭素モビリティWG 報告資料
	資料6	地産エネルギー事業 報告資料
	資料7	ライフスタイルイノベーションWG 報告資料
	資料8	次世代エネルギーパーク事業 報告資料
	資料9	平成27年度における事業のとりまとめ
	資料10	第11回推進協議会議事録

1 WG 活動報告

各 WG より活動報告後討議を行った。主な議論は以下の通り。

- ・情報統合管理基盤は、電力料金の値上がり分を表現することは難しいが、電力使用量削減効果は出ているため、引き続き省エネ活動を継続していく。
- ・ESCO 事業についても、エネルギー削減効果は出ているが、より分かりやすい表現に努める。

2 WG 来年度活動方針

各 WG より来年度の活動方針の報告後討議を行った。主な議論は以下の通り。

- ・モビリティについて、自転車通勤モニター実施により低炭素交通促進の課題が分かった。さらなる検討を継続していく。
- ・地産エネルギー事業の今後の展開については、再生可能エネルギー全量買い取り対象に制約が発生していくことも考慮し、ペレットの普及等新たなエネルギーの導入促進について検討していく。
- ・ライフスタイルイノベーションは、クール・ウォームシェアの促進等、市民と連携した活動を目指す。
- ・次世代エネルギーパークは、事業計画に沿って着実に実施していく。

3 あきたスマートシティ・プロジェクト事業取りまとめについて

- ・来年度の最終年に向けて、プロジェクトの展開状況を整理し、再来年度以降の継続的な活動に向けた環境整備を行っていく。

4 次回協議会日程

次回は3月を予定。

以上